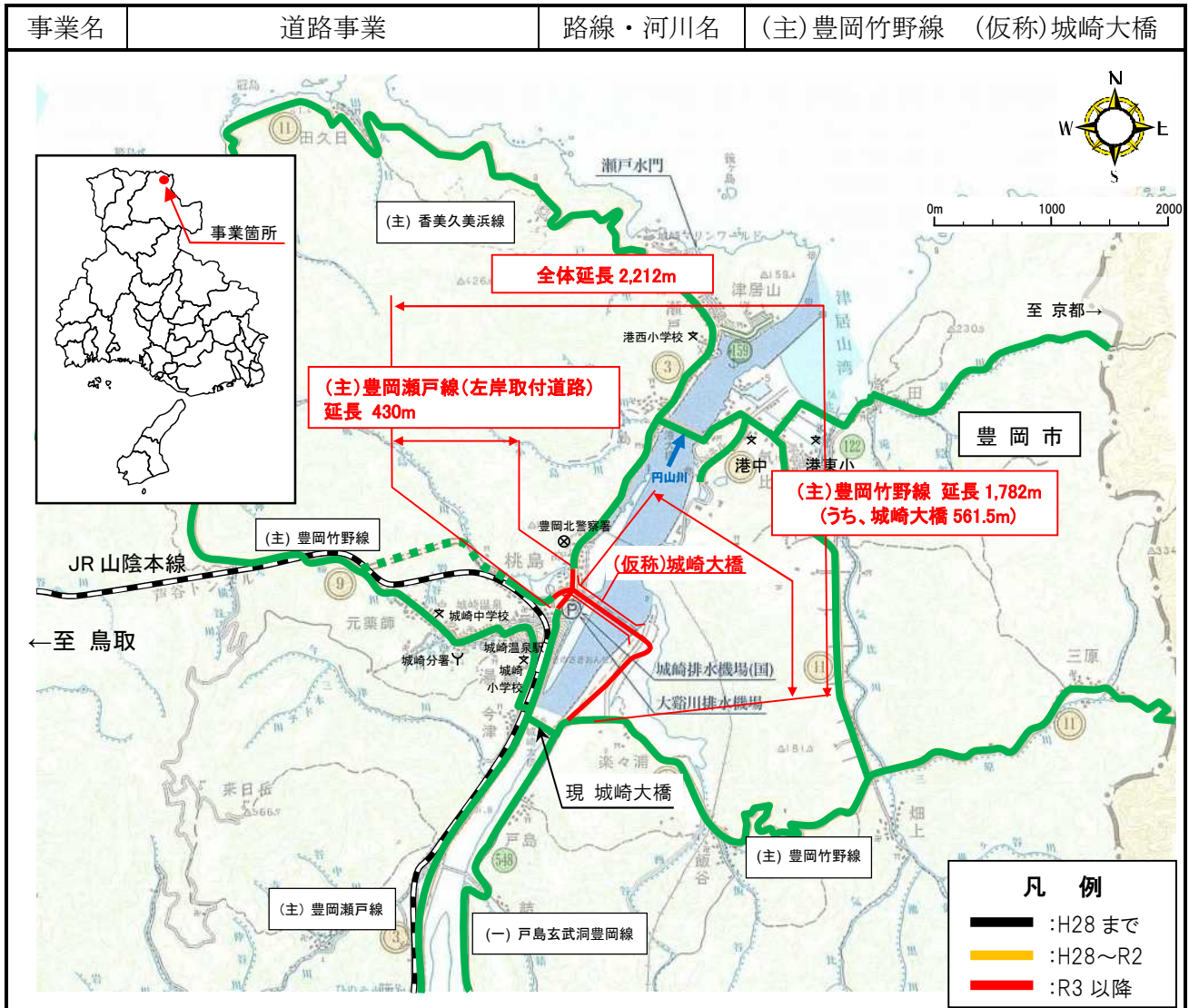


投資事業評価調書（継続：再評価〔第3回〕） 【評価調書様式3】

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 神山 泰 (国道・橋梁班長 橋本 直樹)	内線	4362 (4378)
事業種目	道路	新規評価年度	平成12(2000)年度	現計画	前回評価時点
事業名	道路事業 とよおかたけの (主)豊岡竹野線 きのさきおほし (仮称)城崎大橋	事業採択年度	平成17(2005)年度	総事業費	189 億円
		着工年度	平成17(2005)年度	内用地補償費	20 億円
		再評価年度	平成22(2010)年度 平成27(2015)年度	完成予定年度	令和7(2025)年 度
事業区間	豊岡市城崎町楽々浦～湯島	※H29年度公共事業等審査会で増額報告済			
		進捗率 (用補進捗率)	75 % (100 %)	21 % (88 %)	
		残事業費	47 億円	80 億円	
事業の目的			事業内容 () 前回評価時点		
<p>本路線は、但馬北部の東西交通を強化し、地域の交流を支え観光及び産業の発展に寄与する幹線道路である。</p> <p>○橋梁の架替による安全性の向上 橋梁架け替えにより狭小幅員(4.5m)・大型車通行制限(10t)を解消し、交通の安全を確保する。また、橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m、現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害しているため、現城崎大橋を撤去し、治水安全度を向上させる。</p> <p>○地域の安心・安全の向上 円山川出水時の道路冠水により通行止めとなる(主)豊岡瀬戸線の代替路を確保するとともに、第3次救急医療機関(公立豊岡病院)へのアクセスを強化する。</p> <p>○地域の活性化 城崎温泉への玄関口にある本橋の整備により、城崎温泉へのアクセスが強化され、地域の活性化に寄与する。</p>			<p>【延長】道路改築 2,212m (2,130m) うち橋梁部 561.5m (575m)</p> <p>【構造規格】第3種第2級</p> <p>【幅員】 計画：2車線 片側自歩道3.5m 車道6.5m [全幅11.25m] (片側歩道2.5m 車道6.5m [全幅11.0m]) 現況：1車線 歩道無し 車道4.5m [全幅4.5m]</p> <p>【計画交通量】 8,100台/日 [H42年予測] (8,200台/日 [H42年予測])</p> <p>【現況交通量】 629台/日 [H27センサ] (1,269台/日 [H22センサ])</p> <p>【負担割合】国55%、県45%</p>		
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<p>①城崎温泉は旅行ガイドブック(ミシュラン)に掲載された効果等もあり、外国人宿泊者数が大幅に増加(H17:800人→R1:50,700人)した。これらを背景に、豊岡市は、外国人宿泊16万人(R12)を目標に「豊岡市大交流ビジョン」(H31.3月)を策定し、交流人口の増加に取り組んでいる。</p> <p>②(主)豊岡瀬戸線(左岸道路)は平成16(2004)年の台風23号以降も円山川の出水により度々通行止めが発生(H21～H30の通行止めが延べ22日)しており、安全安心な豊岡市の南北道路の整備が必要である。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①橋梁部において、地質調査の結果、支持層が深くなったことにより、基礎及び躯体寸法を大きくすること、また、基礎杭の施工において通常工法では貫入できない硬質な風化岩が存在することから、補助工法を追加することにより、増額する。</p> <p>②右岸側の取付道路部は、想定より深い軟弱層等が判明したため、軟弱地盤対策を増額する。</p> <p>③橋梁基礎の施工に時間を要することから、完成予定年度を令和7(2025)年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>①工事の進捗率は事業費ベースで75%。橋梁部は、平成29(2017)年より下部工事に着手し、A2橋台、P1・P3・P5橋脚が完成した。残りのA1橋台、P2・P4橋脚及び上部工を施工中である。</p> <p>②左右岸取付道路は、平成30(2018)年より道路改良工事に着手している。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針(H27年度再評価)	【審査会意見】継続妥当		【対応方針】		
	①当該地域は軟弱地盤が多く、工事实施にあたっては、接続道路部分を含めて慎重な事前調査を行った上で、適切な対策工法を検討されたい。		①詳細設計実施にあたり、橋梁下部工や道路構造物設置位置の他、盛土高が高く圧密流下が懸念される箇所においてボーリング調査を行い、構造細目や地盤改良工等の対策工を検討した。		
(1)必要性	<p>①現城崎大橋は、築64年の老朽橋(S31架設)で幅員が狭い上、大型車の重量制限(10t)を行っている。また、橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m、現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害している。架け替えにより、安全・円滑な交通の確保と治水安全度の向上を図る。</p> <p>②円山川の出水時の道路冠水により通行止めとなる(主)豊岡瀬戸線の代替路を確保する。</p> <p>③3次救急医療機関である公立豊岡病院へのアクセスを強化する。</p> <p>④山陰近畿自動車道の(仮称)城崎温泉ICへのアクセスルートであり、利便性の向上を図る。</p>				
(2)有効性・効率性(執行環境状況)	<p>①地元の期待が高く、促進期成同盟会や女将の会より、早期完成の要望がある。</p> <p>②費用便益比 B/C=1.03(前回1.4)、残事業B/C=4.7(前回1.8)</p>				
(3)環境適合性	<p>①景観やコウノトリの飛翔等に配慮し、桁高が変化するリズム感を生み、橋梁上の構造物が少ない橋種を選定した。</p> <p>②山陰海岸国立公園区域内であるため、防護柵等の鋼製部材を景観に配慮した色で塗装する。</p> <p>③工事にあたり、生態系など周辺環境の保全対策を踏まえた施工計画を定め環境に配慮する。</p> <p>④取付道路の歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>				
(4)優先性	<p>①城崎温泉へのアクセスルートであり、豊岡市の「豊岡市大交流ビジョン」における交流人口増加の実現に不可欠。</p> <p>②洪水の流下を阻害している現城崎大橋の架け替えは治水安全上の必要かつ優先性が高い。</p>				
再評価の結果	継続	左の理由	豊岡市が外国人宿泊客数増を目指す豊岡市大交流ビジョンを策定するなど、事業の必要性・有効性並びに早期供用を望む地域からの要望も事業採択時より増していることから、継続して事業を実施する必要がある。		

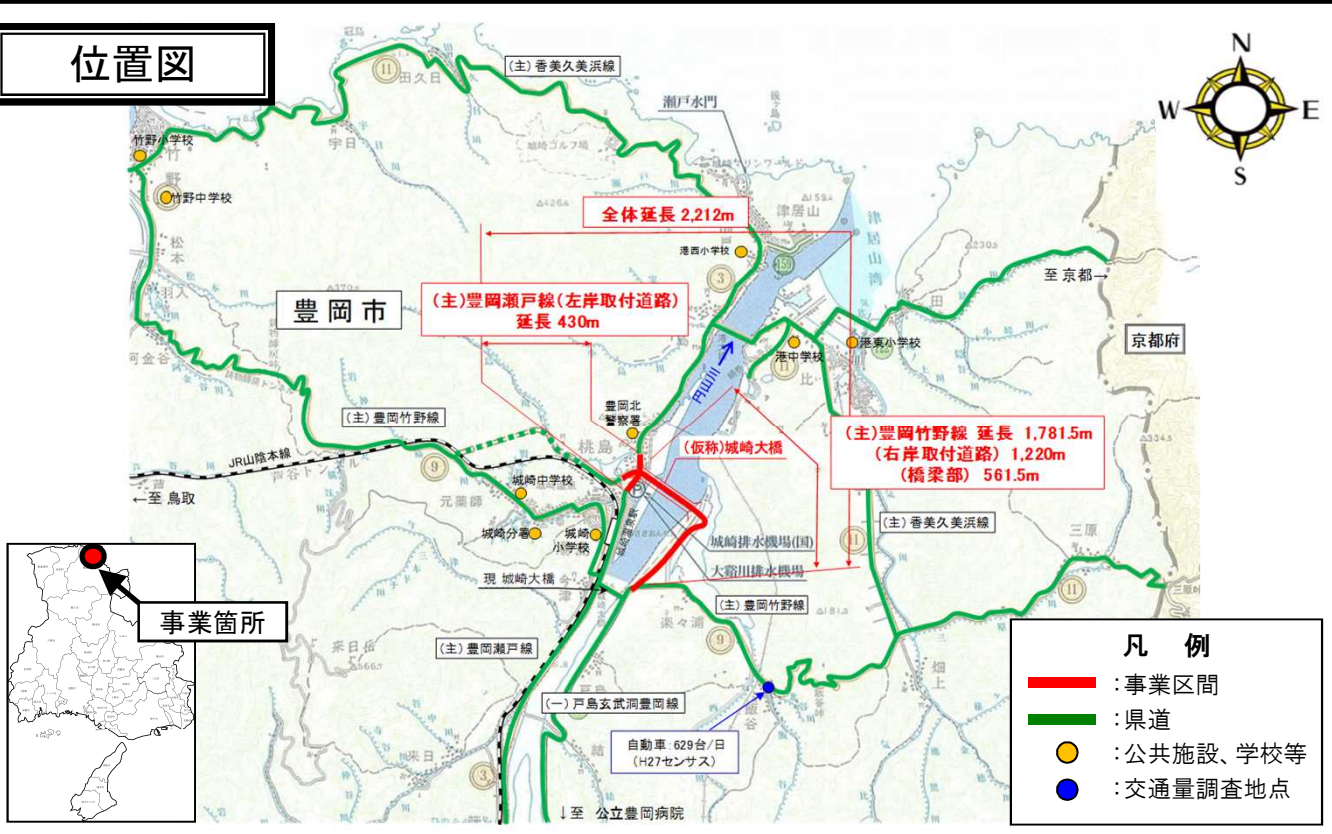
事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第3回〕）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H17(2005) ~ R7(2025))	【事業費=189億円】 ① 延長 2,212m ② 用地 約 24,000m ² (左岸約 9,000m ² 、右岸約 15,000m ²) 豊岡竹野線 L=1,782m (うち橋梁部 L=561.5m) 豊岡瀬戸線 L= 430m	
前回再評価 まで (実績)	【事業費= 21億円】 ① 事業進捗率 11% (用地進捗率 88%) ② 用地取得面積 約9,000m ² (面積ベース進捗率38%)	
過去 5年間 (H28(2016) ~ R2(2020))	【事業費=121億円】 ① 事業進捗率 75% (用地進捗率 100%) ② 用地取得面積約 24,000m ² (面積ベース進捗率 100%)	
今後5年間 (予定) (R3(2021) ~ R7(2025))	【事業費= 47億円】 ① 令和6(2024)年度 供用予定	① 2車線化により大型車の通行を確保。 ② 歩行者の安全の確保。 ③ 老朽橋の解消。 ④ 障害橋梁の撤去により河川氾濫の危険性を低減。

道路事業 (主)豊岡竹野線 城崎大橋

位置図



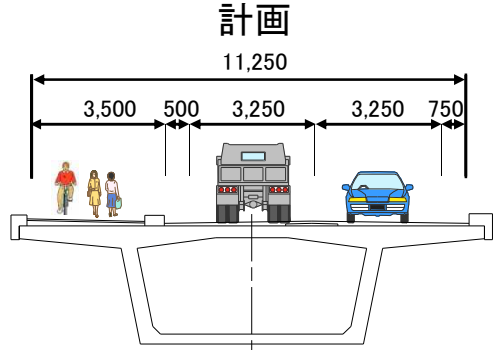
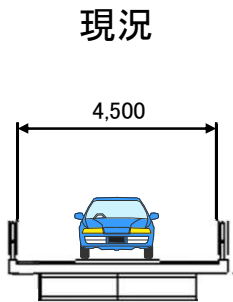
目的

- ①橋梁の架替による安全性の向上
- ②地域の安心・安全の向上
- ③地域の活性化

事業概要

事業区間：豊岡市城崎町楽々浦～湯島
 総事業費：189億円
 内用地補償費：20億円
 事業期間：H17～R7
 事業概要：バイパス
 延長：道路改築 2,212m
 (橋梁部 561.5m)
 費用便益比B/C：1.03(全体)、4.7(残事業)

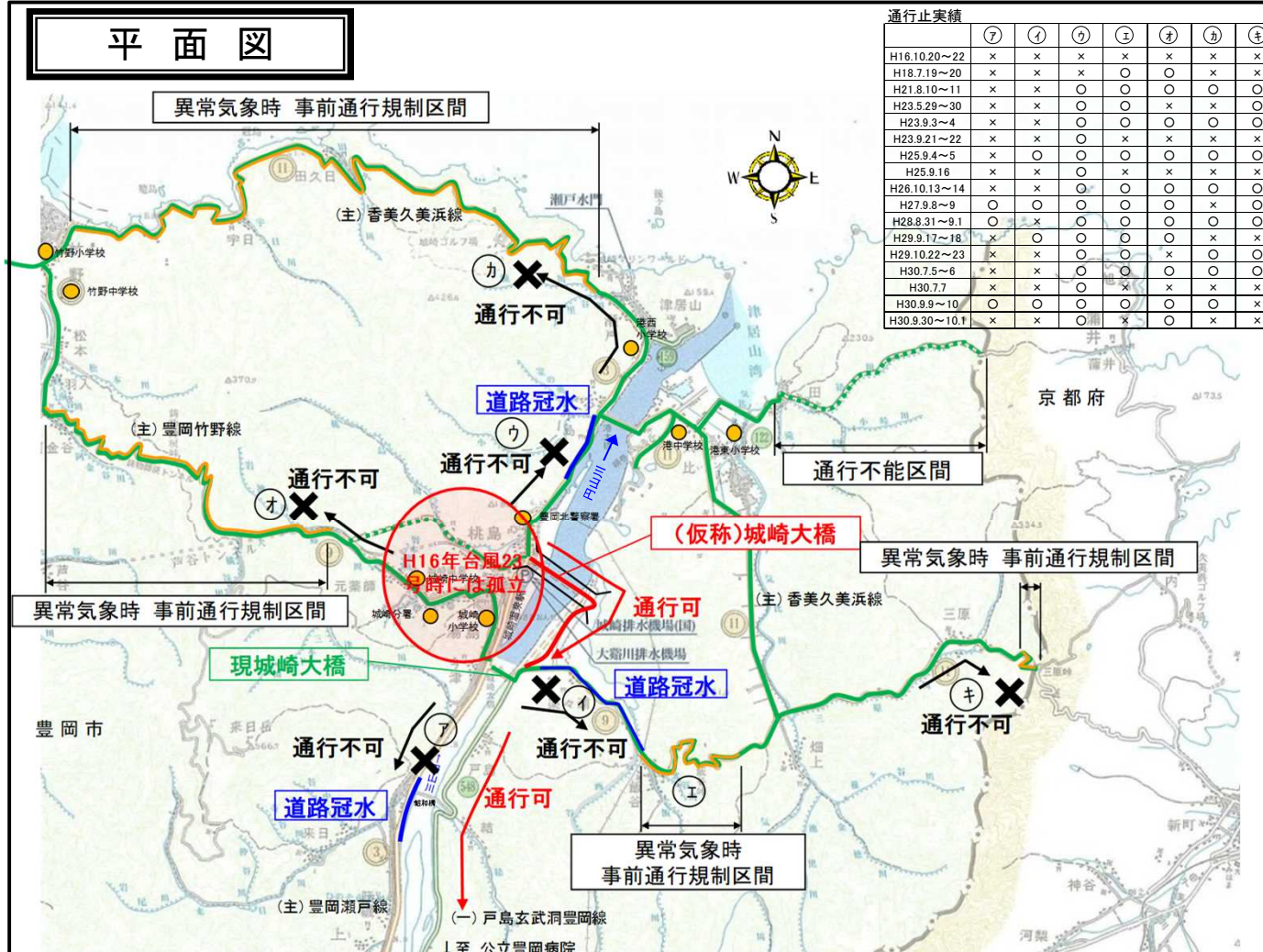
横断図



事業の必要性・優先性

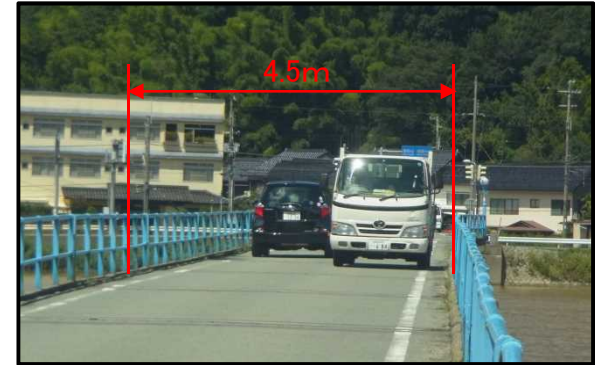
- ①現城崎大橋は、築64年の老朽橋(S31架設)で幅員が狭い上、大型車の重量制限(10t)を行っている。
- ②橋脚の間隔が基準より狭く(基準50m、現況10m)、低い橋桁が洪水の流下を阻害している。
- ③3次救急医療機関である公立豊岡病院へのアクセスを強化する。

平面図



現況写真

- ①老朽(鉄筋露出)、幅員狭小



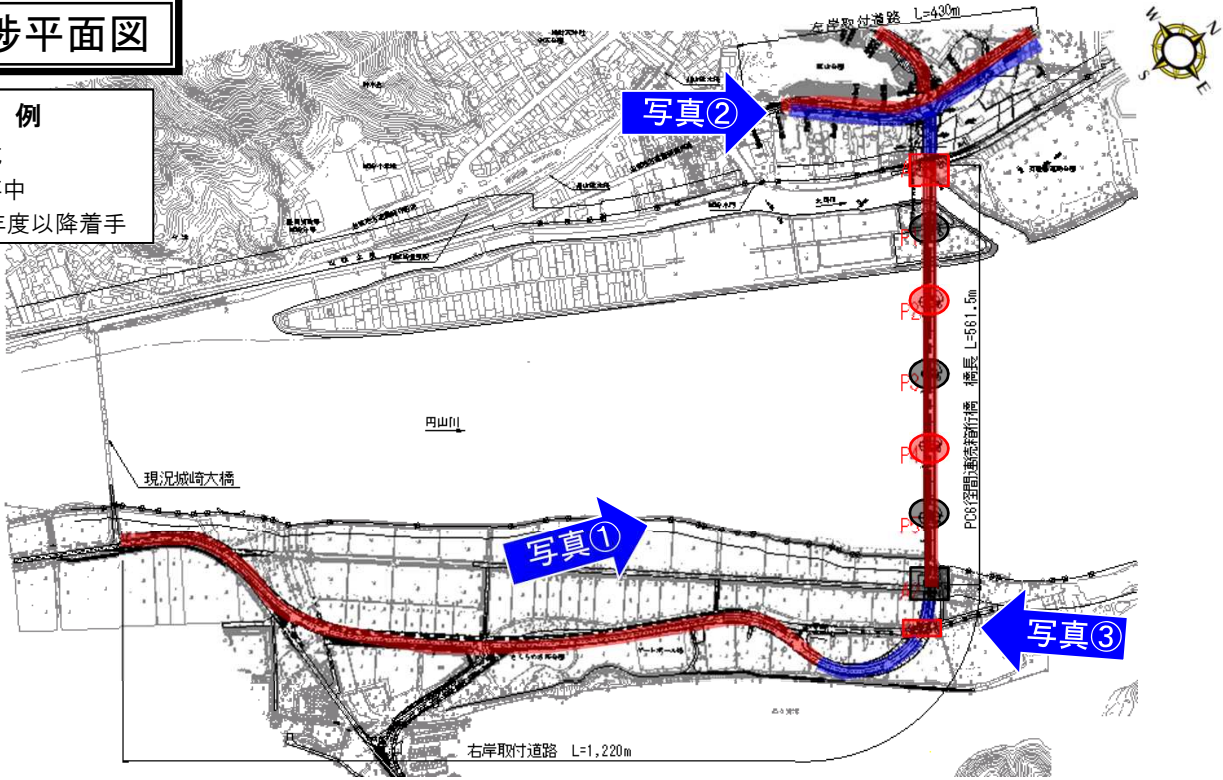
- ②洪水流下の阻害



進捗状況

事業進捗平面図

- 凡例**
- : 完成
 - : 工事中
 - : R3年度以降着手



工程表

- : 前回 (H27)
- : 実施・計画

種別	工種	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	R	R	R	R	R	R	R
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
用地補償	用地補償																								
工事	橋梁工																								
	取付道路																								
	旧橋撤去																								

現況写真

①橋梁部



②取付道路(左岸側)



③取付道路(右岸側)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用－整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365\text{日}$
② 走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費－整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行経費原単位} \times 365\text{日}$
③ 交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額－整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma[\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位}]$

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	計		総費用	事業費	維持管理費		
					(百万円)	(百万円)	(百万円)		
道路	(主)豊岡竹野線 (仮称)城崎大橋	全体事業費	① 走行時間短縮便益	16,900	時間短縮: 7.7分→6.4分 計画交通量 8,100台/日	18,800	18,700	100	1.03
			② 走行経費減少便益	2,100					
			③ 交通事故減少便益	400					
			計	19,400					
		残事業費	① 走行時間短縮便益	16,900	時間短縮: 7.7分→6.4分 計画交通量 8,100台/日	4,100	4,000	100	4.7
			② 走行経費減少便益	2,100					
			③ 交通事故減少便益	400					
			計	19,400					

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
(災害時) ①安全安心の確保	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○	公立豊岡病院(第3次救急医療機関・災害拠点病院)へのアクセス機能の向上
	救助・救援活動の支援 (※災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	(主)豊岡瀬戸線の代替機能の確保
	減災対策への取り組み (※二重堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○	阻害橋梁撤去に伴う河川氾濫の危険性低下
(平時) ①安全安心の確保	救急医療体制の支援	—	—
	交通安全対策	○	歩道の整備による歩行者の安全性確保
②地域の活性化	地域間交流の促進	○	城崎町と京丹後市のアクセス改善による交流の促進
	中心市街地の活性化	○	主要観光地「城崎温泉」へのアクセス性向上による城崎町中心市街地の活性化
	地域産業の活性化	—	—
	観光支援	○	城崎温泉へのアクセス性向上による観光振興
	地域プロジェクト等支援	○	コウノトリの生息環境に配慮した橋種選定
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	—	—
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○	橋梁上の構造物が少ないなど架橋位置を考慮した景観形成

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	地元住民で構成する「新城崎大橋架橋促進期成同盟会」による「新城崎大橋早期実現促進大会」が平成26年度から開催されており、県に早期完成の要望書が提出された。
-------	---